

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地 域 支 援 だ よ り

平成28年2月12日

第60号

秋田県立秋田きらり支援学校

地 域 支 援 部



## 平成27年度 秋田きらり支援学校自主公開研究協議会

12月3日(木)に平成27年度自主公開研究協議会を開催いたしました。テーマは「肢体不自由・病弱教育における児童生徒の主体性を育む授業づくりとは～キャリア発達を促す授業づくりを通して～」です。講演会ではNPO法人地域ケアさぽーと研究所理事長の飯野順子先生より「子ども主体の授業づくり～キャリア教育の視点と自立活動の視点を取り入れて～」というテーマで先進的な取組や具体的な授業づくりの在り方のお話をいただきました。公開授業、分科会、講演会の内容で肢体不自由・病弱教育について、県内外からたくさんの参加者と協議し、情報を共有できる貴重な機会となりました。

### 公開授業

キャリア教育の視点を意識した授業を公開し、多くの参加者の評価をいただきました。



教科指導（中学部 数学）



各教科等を合わせた指導  
(小学部 生活単元学習)



自立活動の指導  
(小学部 自立活動)



訪問VTR公開（自立活動）



各教科等を合わせた指導  
(高等部 作業学習 紙工班)



自立活動の指導  
(高等部 自立活動)

### 講演会



子ども主体の授業づくり  
～キャリア教育の視点と自立活動の視点を取り入れて～

### 分科会



- 第1分科会（教科指導部会）
- 第2分科会（各教科等を合わせた指導部会）
- 第3分科会（自立活動の指導部会）

専門性向上を目指して各分科会では参加者の熱心な協議が行われ、指導助言の先生方からは授業づくりに生きる専門的な助言がありました。



# ふれあいを大事にして

たくさん人とのふれあいを感じて  
笑顔で応える姿を目指しています。



教師が訪問して学習している家庭や病棟にいつもの担当以外の人が同行して学習を進めることを同行訪問といいます。在宅で学習している児童生徒にとって同行訪問は、様々な人と触れ合うことができる貴重な機会です。始業式や終業式での校長先生、副校長先生、教頭先生による同行の他、春に行うミニ運動会やクリスマスシーズンに行う音楽コンサート等を計画し、同行訪問を行っています。一緒に勉強している担当とは違う声や雰囲気、音楽の免許をもつ職員の本格的な歌や楽器の演奏等、いつもの学習とは違う雰囲気を感じた表情や笑顔が見られます。そんな同行訪問のほんの一例ですがご覧ください。

## 始業式 終業式

家庭や病棟、一人一人のベッドサイドで式を行います。

校長先生や副校長先生、教頭先生からの話を聞き、校歌を歌い、学校の式と同じように進めています。



## ミニ運動会 クリスマスコンサート



## 教育専門監のコーナー 「一人一人の豊かなコミュニケーションを育むために」

### 豊かなコミュニケーションを育む「ふれあい体操」

#### 身体の感覚に心を向ける

私たちの心理的発達は誕生時から身体性の発達と密接に関わっている。発語前の乳児は、自分の身体を動かし、そこに母親などの周りを取り巻く養育者から情緒的な応答を受けながら、自分の運動に伴う身体感覚で周りの世界の事柄を把握し、「身体運動感覚」を育み、言葉が誕生していく(村田, 2009)。また、乳幼児においては、身体運動感覚を伴うやりとりによって喚起した経験を手掛かりにすることで、他者の情動や心的状態を情動的に理解しやすくなる(宮里ら, 2010)。このように、様々な情動状態が異なる身体の動きや姿勢によって引き起こされるように、身体感覚の活性化は特定の状態や心的状態と結びつき(Evans, 2001/2005)、それは周りの世界を理解する一助となる。

(井上久美子, 2013「幼児の身体意識と共感性の関連について」より抜粋)

#### 「ふれあい体操」の三つの重要なポイント

##### 1 「ふれあい体操」は「頭の体操」

身体を直接動かす体操ではありません。感覚を通して認識に働き掛けていくものです。

##### 2 「ふれあい体操」は「やりとり=コミュニケーション」

大人が一方的にやってあげるものではありません。まずは、教えてもらうつもりでふれてみましょう。ぬくもりや呼吸を通して何かを伝えてくれます。

##### 3 「ふれあい体操」は「心にふれあう(共感)」

共感とともにかかわる人の思いを伝えます。

(『障害の重い子のための「ふれあい体操』より抜粋)

自立活動の指導で行われる「ふれあい体操」は身体意識を育て共感性を育む体操です。子どもとの「かかわり(社会関係)」を「時間の流れ(生活過程)」の中で繰り返すことで「こころ(認識)」と「からだ(実体)」を育み「全体像のひろがり」がもたらされます。

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail : kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018（889）8573 FAX：018（889）8575

「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

